府省名	金融庁	部署名	政策オープンラボTECH FORMINGチーム
取組者	目黒 伸也、長谷川 正樹、佐藤 主隆、神谷 安有子		

取組のポイント

Excelファイル交換形式による審議会の日程調整は、委員・職員両者にとって、作業工数・調整負担が重かったため、委員がスマホ等から手軽に日程情報を登録できる審議会日程調整アプリケーションを開発・実装した。 その結果、委員側の利便性の向上、職員側のロジ業務の効率化・正確性の向上・残業時間の削減を実現。（日程調整1回あたり1～2時間の業務時間を削減）

取　組　概　要

【取組の背景】

従来、金融庁においては審議会等の開催日時に関する各委員・事務局間での調整を部局ごとに、委員へExcelフォーマットを送付し、各委員からの返信ファイルの内容を集計する方式で行っていたが、

①複数審議会を兼務している委員に対して、各部局から重複してExcelファイルが送付され、当該委員の編集・提出負担が増加、

②職員側のファイル統合作業負担も委員数の増加に伴い加速的に増加、また統合作業の正確性の確保が困難、

等の課題が多い状況であった。

【取組の内容】

上記の審議会日程調整業務について、委員・職員両者の負担軽減に向けて、金融庁名義で契約したクラウド環境上に審議会日程調整アプリケーションを開発・実装した。当該開発には着想から1年超を要し、民間IT企業から出向中の職員とプロパー職員が協業し、システム要件定義、セキュリティ要件検討、アプリケーションのコーディング、サーバー環境構築（調達）、マニュアル整備まで一貫して行った。

開発したアプリケーションは、スマホ等からも予定登録できるものであり、

①複数の審議会を兼務している委員は金融庁への日程通知が一元化される

②委員は空き時間（電車の移動時間）などにスマホ経由で、手軽に日程情報の登録が可能

③提出された情報をアプリケーション上で自動集計することで、職員による統合等の作業を効率化

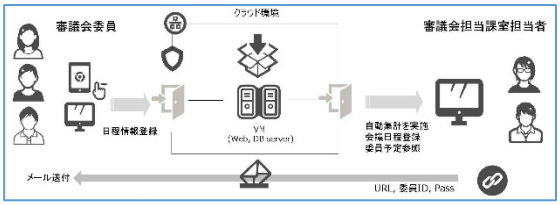
④政府調達基準（ISMAP）適合のクラウドを利用し、またクラウド上には一切の個人情報を保持しない構成とすることで、セキュリティにも配意

⑤庁内幹部も含めて多くの関係者にアプリケーションの内容を説明し、全庁的に利用を促進しつつ、利用マニュアル・利用規約等の整備・徹底により、運用の安定性を向上させている

などの特徴があり、庁内の審議会・研究会の日程調整業務を標準化し、抜本的に再構成・効率化した。

【取組の成果】

2022年１月現在、金融庁の９つの会議体において、103人の民間委員がアプリケーションを利用し、計13回分の審議会日程調整に利用された。既存の業務フローで必要となっていた工程を大幅に削減し、移行コストを差し引いても日程調整1回あたり1～2時間の業務時間を削減できたといった利用者からのフィードバックを受けている。



【日程調整アプリの概要】

講　　評

多くの府省・部局に共通する日常業務である審議会等の委員の日程調整に着目して改善に取り組んだ点が素晴らしい。